

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2018.7) 平成29年度:38.

A病院における過去5年間の看護診断の現状

嶋田 あすみ, 谷口 亜紀子, 久保 千夏, 金田 豊子

A 病院における過去5年間の看護診断の現状

旭川医科大学病院看護部

嶋田あすみ 谷口亜紀子 久保千夏 金田豊子

【はじめに】

A病院では看護診断使用頻度統計の結果から、看護診断別標準看護計画のマスタメンテナンス、各部署の学習や看護の質向上に向けた方策の検討に活用している。今回、過去5年間の看護診断の現状から患者状態や看護の特性を明らかにした。

【方法】

A病院の2011年度から2015年度の10位までの看護診断数と2015年度の領域別看護診断数を単純集計し、看護診断から考えられる患者状態と看護の特性について考察する。

【倫理的配慮】

対象が特定されないように配慮し、得られたデータは調査以外の目的に使用しない。

【結果】

- 2011年度から2015年度の10位までの看護診断（表1）
- 2015年10位以内のリスク型看護診断は、転倒転落リスク状態、皮膚統合性障害リスク状態、身体損傷リスク状態であった。問題焦点型看護診断は、急性疼痛、皮膚統合性障害、

身体可動性障害であった。ヘルスプロモーション型看護診断は、健康管理促進準備状態、知識獲得促進準備状態、母乳栄養促進準備状態、コーピング促進準備状態であった。

3. 2015年度の看護診断数と領域（表2）

4. 全部署の10位までに、領域11 安全/防御の看護診断が入っていた。

【考察】

リスク型看護診断が上位を占めており、高度・侵襲的な医療処置に加え高齢患者が多く、治療処置に伴う褥瘡や身体損傷のリスクが高いため、予防的介入をしていると考える。また、苦痛や活動領域に関連する看護診断が上位で、苦痛への対応と運動レベルの回復を目指す看護が行われていると考える。ヘルスプロモーション型看護診断は年々増加しており、早期から退院を見据え、セルフケア能力や強みに焦点をあてた看護が行われていると考える。

過去5年間の推移では、感染リスク状態と知識獲得促進準備状態の順位は下がり、セルフケア能力の獲得に向けた看護診断に移行している。

表1. 2011年度から2015年度の10位までの看護診断

順位	2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度	
	診断数	看護診断名								
1	2349	皮膚統合性障害リスク状態	2460	転倒リスク状態	2664	転倒転落リスク状態	3368	転倒転落リスク状態	4230	転倒転落リスク状態
2	2205	転倒リスク状態	2405	皮膚統合性障害リスク状態	2537	皮膚統合性障害リスク状態	2721	皮膚統合性障害リスク状態	3016	皮膚統合性障害リスク状態
3	1022	急性疼痛	1011	身体損傷リスク状態	1063	身体損傷リスク状態	1146	身体損傷リスク状態	1232	身体損傷リスク状態
4	863	身体損傷リスク状態	934	知識獲得促進準備状態	970	急性疼痛	993	自己健康管理促進準備状態	1182	健康管理促進準備状態
5	806	知識獲得促進準備状態	929	急性疼痛	886	知識獲得促進準備状態	935	知識獲得促進準備状態	873	急性疼痛
6	709	自己健康管理促進準備状態	839	自己健康管理促進準備状態	883	自己健康管理促進準備状態	917	急性疼痛	835	知識獲得促進準備状態
7	478	皮膚統合性障害	487	皮膚統合性障害	577	皮膚統合性障害	670	皮膚統合性障害	672	皮膚統合性障害
8	400	感染リスク状態	426	感染リスク状態	344	身体可動性障害	309	歩行障害	274	身体可動性障害
9	221	身体可動性障害	318	身体可動性障害	323	感染リスク状態	280	身体可動性障害	273	母乳栄養促進準備状態
10	219	効果的母乳栄養	249	歩行障害	254	歩行障害	259	母乳栄養促進準備状態	254	コーピング促進準備状態

表2. 2015年度領域別看護診断

順位	診断数	領域
1	9707	領域11 安全/防御
2	1347	領域12 安楽
3	1341	領域1 ヘルスプロモーション
4	963	領域5 知覚/認知
5	852	領域4 活動/休息
6	405	領域7 役割関係
7	401	領域9 コーピング/ストレス耐性
8	394	領域2 栄養
9	122	領域3 排泄と交換
10	61	領域8 セキュアリティ
11	35	領域6 自己知覚
12	26	領域10 生活原理
13	5	領域13 成長/発達